

## 【桃山学院中学校高等学校ミッション・ステートメント】

桃山学院中学校高等学校は、自由と愛の精神に基づく学びの場として、生徒ひとりひとりを大切に、個々の生徒が持つ多様な可能性を开花させ、健全な社会の実現に貢献できる若者を育成することを使命とする。

| 分類   | 評価項目   | 点数評価 | 評価・提言  |
|------|--------|------|--|
| 教育活動 | 学校の理念  | 5    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・桃山の「理念」から離れて「愛」がかつてより欠けつつあるのではないかと感じることもある。</li> <li>・トップレベルの超難関大学に進学することだけを目指す必要はない。</li> </ul>   |
|      | 教育の特長  | 5    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミッション・ステートメントに表れている。</li> <li>・知・徳・体のうち「知」に偏りがち。3つの軸が絡み合うことが生徒の成長につながるので、そのことが実現される教育を期待したい。</li> <li>・「生徒を信頼することが教育の前提」という理念を全教員が具現化できると、より素晴らしい教育が行われるであろう。</li> </ul>   |
|      | 指導方針   | 4    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題ありません。</li> <li>・チーム・ティーチングの深化が望まれる。</li> <li>・一人の生徒に多様な個性を持つ複数の教員が係わることで、多様な生徒指導が行われるであろう。</li> </ul>   |
|      | 課外活動   | 3    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文武両道ができています。</li> <li>・現役生のみならず卒業生も自ら望み「東北ボランティア」や「桃山合宿」に参加していることは評価できる。</li> </ul>  |
|      | いのちの教育 | 5    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・桃山学院なればこそその教育だと思います。</li> <li>・「いのちの教育」全般、「AED 使用法指導」は、教員の熱心な取り組みにより生徒に定着している。</li> </ul>  |
|      | 人権教育   | 4    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめ」は子供と大人のたくさんの目で見て見逃さず、生徒たちを支えていくことを期待したい。</li> <li>・中学進学前に「いじめ」を体験してきた子供もいるであろう。その子らの心のケアを大切に、再び同様の辛い経験をさせない体制を期待したい。</li> <li>・ゲームを用いたいじめ等のシミュレーション体験などが有効と思われる。また、SST 的な取り組みにより、いじめをされたときの心の痛みを体験することができるのではないかな。</li> </ul> |
|      | 国際教育   | 5    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要な国家的テーマですので、伝統と独自性がある EP 留学制度は今後も大切にされたい。</li> <li>・国際コースにおけるアジア圏への留学に目を向けたことが評価できる。</li> </ul>  |

|      |               |   |   |
|------|---------------|---|---|
|      | 安全教育          | 4 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導(授業・課外活動・行事などで)の場面で教員同士のチーム体制を子供が見ている。教員同士の確かな連携で、生徒に確実に統一した指導がなされることを期待したい。それが「安全」「事故防止」にもつながると考えられる。</li> <li>・「いのちのマニュアル」のビジュアルによる安全指導は、読む者にとって腑に落ちやすいものであり高く評価したい。</li> <li>・学校の不審者侵入防止の取り組みについて、かつて甘さがあった。しかし現在では「不審者侵入訓練」の取り組みがあり、安全性の増進と安心感の醸成につながっている。</li> </ul> |
| 学校運営 | 情報公開          | 3 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの方々がホームページを見ていると聞いているが、更新頻度がやや少ないと思われる。</li> </ul>  |
|      | 危機管理          | 4 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校時の歩行がかなり改善されたと地域で評価しております。</li> <li>・機械による安全管理も進んでいるが、それを取り扱う教職員の意識を高める必要がある。</li> </ul>   |
|      | 地域交流          | 3 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害に備えての「炊き出し」の取り組みは、保護者以外の地域の方々の口コミで連携が広がる。それが学校の「力」となる。</li> </ul>   |
|      | 社会貢献          | 4 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校年代での活動は意味深い。</li> <li>・今後、地域施設で職業体験などを実施する場合、学校教員が施設の取り組みなどについて熟知し、生徒にそのことをきちんと伝えることが期待される。</li> </ul>   |
| 学校評価 | 学校評価のためのアンケート | 4 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価をしている関係者は「学校の応援団」として評価をしているので、「評価」を教職員の「自信」につながるものとして用いられることを期待する。その「自信」は生徒と教師のより良い関係の構築にもつながるものであると考え。</li> <li>・「授業評価」について、「いいえ」が少ないことを評価したい。次年度は「どちらかといえばはい」ではなく「はい」が増えることを期待したい。</li> </ul>   |
|      | 学校評価の活用       | 4 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果が変われば申し分ありません。</li> <li>・PDCAの後のPのプランが見えた方が良い。</li> <li>・去年までは評価の活用の実態が見えにくかった。今年度は改善されたと考える。</li> </ul>  |

桃山学院中学校高等学校の第2期中長期ビジョンに対する評価（桃山学院第二期中長期ビジョン5ページ参照）

| 分類                    | 点数評価 | 評価・提言  |
|-----------------------|------|--|
| 桃山学院中学校高等学校を日本一の学校へ   | 4    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・着々と進められていると感じる。</li> <li>・意気込みは良いが、「学力」だけではなく「目に見えない実力」も大切。「目に見えない実力」を養う教育の実践も重視していることを伝えることが大切。</li> <li>・桃山学院大学社会福祉学科の教育が優れているので、そのような関係者・卒業生のネットワークの深まりを期待したい。</li> </ul>     |
| 改革1 特色のあるプログラムの実施     | 5    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロヴィデンスデーの授業(ビブリオバトル等)に保護者が「生徒」として参加できるようになることを期待したい。そのことで学校の取り組みに保護者からの理解が深まり、自分の子供と家庭における会話が弾み、心の交わりも深まると考えられる。また、保護者の「学び」にもつながる。</li> <li>・「いのちの教育」のプログラムも高く評価できる。</li> </ul> |
| 改革2 全国レベルの進学校へ        | 4    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・トップレベルの超難関大学に進学することだけを目指す必要はない。生徒自身が「行きたい大学」に進学できる体制の整備が必要である。</li> <li>・コース間の格差が広がらないように進学指導されたい。</li> </ul>  |
| 改革3 アスリート指定クラブの全国大会優勝 | 3    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後に期待したい。</li> </ul>   |
| 改革4 国際教育の推進           | 5    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大いに期待したい。</li> </ul>   |

<点数評価> 1. 評価しない 2. あまり評価しない 3. 改善の余地あり 4. 評価する 5. 大いに評価する